

No.192

メロン、丸い形は地球に見える?メロンのようにおいしく、その表面の網目のように 緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします!

巻頭 多言語情報発信に関する勉強会報告	1	(カレンダー) 2023 年 9 月の comm cafe ランチカレンダ	_ ····· 5
報告 からだでみにつく!子ども英会話	2	椒Gt 協会・他団体からのお知らせ	6
報告 阪大トルコ・シリア北部地震講演会&食事会	3	編集後記	8

多言語情報発信に関する勉強会報告

6月23日に多言語情報発信に関する勉強会が開かれた。NPOの組織作りや話し合いのファシリテーションなどを行っている松村幸裕子さん(共奏学舎 主宰)、参加者は『みのおポスト』『めろん』のボランティア、市の国際交流員(CIR)、事務局のメンバーが参加した。筆者の母語は日本語だが、箕面市には半年前に引っ越してきたばかりで、ゴミ収集日の変更など必要な情報を知らずに困ったことがある。ましてや外国人はこのような情報をどう手に入れているのか、興味を持って参加した。勉強会では以下の二つの課題について議論がなされた。

- ・多言語情報の発信をしているけど、外国人市民 に届いているのか?
- ・受け手が必要な情報が届けられているのか?

今回は 2022 年 11 月~2023 年 3 月に行われた外国人市民への聞き取り調査の結果がメインの議題だ。対象者は箕面市に在住・在勤・在学する 18 歳以上の外国人市民 51 人。聞き取りは一部英語、ベトナム語を使用したが、ほとんど日本語で実施されたため、たとえば、40% が「日本語のニュースやドラマを聞いて理解できる」と回答するなど、対象者は日本語ができる人に偏っていることをお断りする必要がある。

しかし、「みのおポスト」「みのお多言語ポータル」

「GOOD DAY みのお」に触れる機会についての回答は以下のようになった。

(%)	知らない	あることを 知っている (見た・聴いた ことはない)	見た (聴いた) ことがある	ときどき 見る (聴く)	よく 見る (聴く)
みのおポスト	33.3	9.8	19.6	11.8	25.5
みのお多言語 ポータル	37.3	13.7	33.3	11.8	3.9
GOOD DAY みのお	70.6	15.7	5.9	3.9	3.9

全体の割合を見ると、あまり広くは知られていないという結果となった。まとめてはみたものの、筆者はずみのお多言語ポータル』と『GOOD DAY みのお』は名前も聞いたことがなく、どこからアクセスすればいいのかさえわからないと思いながら話を聞いていた。

つづいて、調査の中で挙がった日常生活の困り事の 例をジャンル別に分けて紹介する。



発行・差出人: 公益財団法人箕面市国際交流協会 (MAFGA)

〒 562-0032 大阪府箕面市小野原西 5-2-36 箕面市立多文化交流センター内

Tel: 072-727-6912 Fax: 072-727-6920 E-mail: info@mafga.or.jp HP: www.mafga.or.jp

賛助会員数:288 名 法人会員数:26 団体(2023 年 8 月 16 日現在)

【ことば】日常生活に関する情報は多くが日本語のみで、 自分たちで翻訳しなければならない場合がほとんど。 スマホ上での日本語の文字のメッセージのやりとりが難 しい。

【手続き】行政窓口が専門用語で話してくる。専門用語で話されてもわからないと怒りたい気持ちをぐっと抑えて聞いている。

【コミュニティ】自分の国のコミュニティが貧面にない。 【医療】来日して5年経つが、病院は1,2回行ったくらい。 よい歯医者の探し方がわからないので教えてほしい。

結果を見て、参加者から「よい歯医者は日本人でもわからない」という声があったが、協会職員は「外国の方は『日本人でもわからない』ことさえわからない」と返答していた。

最後に参加者のコメントとして、CIRのトレースさんは、「自分は日本語の読み書きができるが、来日直後は、

情報が多すぎて、必要な情報を取捨選択するのが難しかった」という。一方で、今は市役所で外国人の対応を任されるトレースさん。窓口に外国人が来たら、その人の話す言語を確認せず、トレースさんが呼ばれることがあるそう。 在住外国人との共通言語は、多くの場合「やさしい日本語」だということをもっと周知させる必要があるだろう。

たしかに、筆者が昨年箕面市に引っ越してきた際、市役所で大量の冊子が渡され、確認するのが大変だった覚えがある。今回の会では、情報をできるだけ多く伝えたいと、たくさん発信する側と、受け取る情報があまりに多すぎて混乱する受け手側に、気持ちのズレがあることがわかった。上手くパランスを取るには、今回協会が行ったアンケートのように、定期的に発信の方法を振り返る必要があるだろう。(西岡)

全身をつかって英語をまなぶ! 「からだでみにつく!子ども英会話」(5/27、6/24、7/22)

講師のバヤン・ジン・アル・アブディンさんは、サウジアラビアでダンスコーチ(ズンバ(※)・アクアズンバ)や水泳コーチをしていた。「からだでみにつく!子ども英会話」5/27(土)初回の講座に集まったのは小学校低学年の7名。胸につけた名札は、どちらでも自分の名前が読めるようにアルファベットとひらがな。特に友達同士で参加したのではないらしいが、バヤンさんの指導が楽しくいつのまにか連帯感が生まれている。



音楽に合わせてバヤンさんが踊りだすと、子どもたちも自然に体を動かし始める。これらの曲は彼女がズンバの指導でいつも使用している。曲とバヤンさんの声に合わせて、"Big、Big・・・、Small、Small"両手を横に、広げたりすばめたり。真剣な顔つきだが、どこか楽しそうな子どもたち。一人ずつ前に呼ばれて、みんなの前で、Big、Big・・・、Small、Small・・・ちゃんとできているのだ。左手に紙コップを持ち、右手をカップに入れてIn、上に持ってきてUp、カップの下に置いてUnder、と手を動かしていくのも、分かりやすい。こんな楽しい授業だったら、私たちも英語が身についたかもしれない。きっとこの子たちは家に帰って、"Big、Big"とやってみるだろう。

実は、今日の講座を始めるまで、バヤンさんは子どもたちがどう反応してくれるか心配で、「ドキドキして、夜も眠れなかった!」らしい。けれど、子どもたちの素晴らしさに最後はバグでお別れ。企画した職員も初めての試みなので、子どもたちがのってくれるか非常に心配だったと言う。保護者に連れてこられていやいや参加する子がいたらどうしようと思ったらしいが、それは杞憂に終わったようだ。子どもたちは皆、「自分が来たかったんだよ」と言う顔をしている。保護者も手ごたえを感じた様子だった。

最終回の3回目には子どもたちにどんな変化が見られるだろうか。今日初めて参加した子もすぐに仲間に馴染んでいる。英語はもちろん、ダンスもバヤンさんの動きに合わせてスム-ズ。今日のゲームはまず4色の色紙が向かい合った二人の前に置かれ、バヤンさんの"ピンク、レッド・・・"の掛け声に合わせてカルタ

のようにパタンと手を置いて、先に手を置いた子が勝ち。次は子どもたちが掛け声をかける番だが、みな発音が良くなっている。

熱心に見学していた保護者に聞いてみた。「お子さんは、普段から英語に親しむ環境にあるのですか?」の問いに「全くありません。幼稚園も家庭も日本語ばかりなので、こんなに英語に馴染んでくれて嬉しい」とのことだった。終了後の保護者たちは、職員の問いかけに「もっと続けてほしい」と言う人が多かった。つい語学の習得と言うと、勉強!暗記!と思ってしまうが、こんなに楽しく学んでくれたらほんとうに嬉しい。「水泳教室で、子どもたちを指導する事もあるので、それが役に立ったかもしれない」と言うバヤンさん。これからも、日本で活躍の場を広げていってほしいと思う。(井嶋)

※ズンバ(Zumba):コロンビアのダンサー兼振付師のペレスによって創作されたフィットネスプログラム。

トルコ・シリア北部地震チャリティ講演会

7月22日(土)、大阪大学外国語学部・人文学研究科外国学専攻主催の第1回「さまざまな視点で世界を見る」の講演会が、箕面キャンパスで行われた。テーマは、2023年2月、巨大地震にみまわれたトルコ東部とシリア北部での被害状況と問題点から探るトルコ社会である。今回の地震では、5万8千人以上が亡くなり、今も約25万人が仮設住宅で暮らしている。ここまで被害が大きくなった理由を、三人の講師が解き明かす。

まずは、協会の事務局次長である岩城あすかさん。トルコ留学中に経験したマルマラ地震(1999年)で報道機関等の通訳として現地に同行し、復興支援にも関わった経験がある。異常事態においてマイノリティへの差別が炙り出されるという現実。また、村型社会と都市型社会の激しいふつかり合いがあり、そこへ難民も加わることからテント村での共存に困難を伴う(家畜の飼い方やトイレ事情など)など、特有の難しさを解説した。

阪大人文学研究科外国学専攻准教授の宮下遼さんからは、「一夜建て」という違法建築の蔓延を中心に話があった。80年代以降、都市に流入した不法移住者が粗悪な家を建て続けて建物の周りに隘路が生まれたが、家族や同胞で住んだために比較的治安が安定し、労働力も必要とされていたことから当局も黙認してきた。また選挙民として彼らを取り込みたい政治家の思惑もあって、都市の発展とともにトルコ人の多くが「一夜建て」出身者の子孫と言われるまでになった。社会の複雑な構造により、今日の取り締まりも完全なものではなく、地震で「パンケーキクラッシュ」と呼ばれる高層アパートの崩壊も起こったのである。

阪大人間科学部4回生の島村優希さんは、NGO (CODE 海外災害援助市民センター)を通じてボランテイアとして被災地を訪れ、テントや仮説住宅を



回って被災者の思いを聞き取った。日本からのメッセージが書かれた手紙や動画を添えた衣服に喜ぶ女性や子どもたち。風呂にひと月入っていない障害者。アッラーが怒ったから地震が起こり、人間が欲張りになったから建物を高くして被害が大きくなったと嘆く男性。意見を言う、考えるだけで罪になるんだと述懐するクルド人もいた。このような人間のありようを受け止め、行動する新しい力を心から頼もしく思う。最後に、在名古屋トルコ共和国総領事館のウムット・リュトフィ・オズデュルク総領事からの援助への感謝の言葉がビデオで流された。

終了後は、3階ピロティで参加者に箕面ビールがふるまわれた。事前申し込みをしていた人には、コムカフェが提供するトルコ料理のセットメニューというお楽しみも。トルココーヒーとチャイの販売もあり、その収益と、トルコ料理・ビールの収益の一部は、CODEを通じてトルコ地震支援のために寄付される。ビル風の涼やかなデッキでは、グラスを片手に歓談する人、料理に舌鼓を打つ人たちに穏やかなひと時が流れていた。

今回の講演で、日本のニュースでは流されない 実情の一端を知ることができた。世界遺産も多く 有する美しいトルコの、1日も早い復興を願う。 (山下)

「めるん」読者モニターを囲んで、座談会を開きました。

ボランティアと職員がいっしょにつくる本誌「めるん」。はたして、読者に興味深く読んでもらえているのだろうか。また、読者が読みたい記事はどのようなものなのだろうか。そんな編集部の疑問から、読者モニター4名を交え座談会を開いたので、そのようすをレポートする。

めるん編集部から「読者モニター」として声をかけたのは次の4名だ。

読者モニター:

- ・大阪大学外国語学部(フィリピン語専攻) 大野真奈さん
- ・協会元多言語相談員 中西菜穂子さん
- ・箕面市立船場図書館 徳永智子さん
- ・みのお市民活動センタースタッフ 松木亮さん

6月20日(火)のお昼すぎ、計11名(読者モニター4名、ポランティア4名、職員3名)の参加者が多文化交流センター2階会議室にあつまった。読者モニターには、あらかじめ過去2年分の本誌を渡して、目を通してもらっている。記事



の感想について読者モニターに一人ずつ聞いていくと、(ボランティアさんを目の前にして厳しい意見は言いづらいということももちろんあるだろうが)おおむね高い評価であった。興味深かった記事を聞くと、書評やコラム的な記事が多く挙がった。どうやら、イベント報告や事業紹介とちがい、執筆者の人となりが見えてきやすいので、行間を想像しながら読む楽しみがあるらしい。

記事への厳しいコメントは出なかったものの、「めるん」自体が新しい読者にアピールできていない、という声が多く挙がった。中西さんからは、自身の娘にも本誌を読んでもらった意見として「すべてのページに協会の名前が記載されていて、MAFGA色が強すぎ。若い人からは怪しく見えるのでは」との指摘。大学生の大野さんからも「大学の友人からも『怪しい団体じゃないの?』と聞かれたことがある。大学生が手に取りにくいと思う」という意見が聞かれた。見かけと実態が乖離する団体からの勧誘への警戒を強めている大学の現状を反映した意見であるとは思うが、公益性の高い事業を行っている国際交流協会でも不審がられてしまうのか、と驚いた。新しい読者に本誌を手に取ってもらう秘策として「表紙にカフェカレンダーを!」や「ぱっと見て国際交流協会の機関誌と見えないように、一面ポートレート写真にしては」という奇抜なアイデアも飛び出したが、実際に採用されるかは今後のお楽しみに。

1時間半という短い時間ではあったが、読者モニターからはこれまでにない視点からの意見が飛び出し、会としても盛り上がった。ぜひ、今本誌を手に取って読んでいるあなたからの意見もお寄せいただきたい(宛先は、裏表紙ページ上部参照)。今後も、読者からの意見を踏まえつつ、より良い紙面づくりをめざしたい。(坂口)



診療時間	月	火	水	木	金	±
am9:00~12:00	0	0	0	/	0	0
pm1:00~3:00(胃カメラ)				/		/
pm5:00~7:30	/	/	0	/	/	/

※診療開始30分前から受付します。

- ■胃カメラは予約制です(□ 印)
- ■休診日:月・火・金・土曜午後、木曜、日祝日 ■http://ozawa-clinic.world.coocan.jp/ 【住所】562-0023

箕面市粟生間谷西3丁目7-9シャト一野間1F 阪急バス停留所「宮の前」スーパーマルヤス向い

無料駐車場 有

072 - 730 - 0721



フェアトレード雑貨と古民家カフェ

豊能郡能勢町地黄 476 営業時間:金~月 11:00 ~ 17:00

http://espero-osaka.com/

第回市国際交流協会の 多言語による生活相談窓口

電話 072-727-6912 (日本語・英語)

メール soudan@mafga.or.jp

子育てや教育、仕事、医療、福祉、在留資格など、生活での悩みや困りごとに対応します。 秘密厳守。相談は無料です。

日時:火曜日から日曜日 9:00~17:00 受付方法:来館、メール、電話

対応言語:日本語、韓国・朝鮮語、中国語、英語、ポルトガル語

場所:箕面市立多文化交流センター





mm_cafe ランチカレンダー

火・木~土

9:30 - 11:30朝カフェ

11:30 - 14:00 ランチ ¥950 *売り切れ次第終了

14:00 - 17:00午後カフェ

目・祝日 *ランチはありません

10:00 - 13:00世界の朝ごはん ¥770 (ドリンク付り)

MOOK 本完成! おしらせ

コムカフェ MOOK 本「世界をつまみ食い! 1 つのカ フェ×6つのしょく~食・触・職・色・織・ショック!?」 が刊行されました。この MOOK には、10 年以上に及 ぶこのカフェのあゆみがギュッと一冊にまとめられて います。

カフェに置いてありますので、手に取ってぜひ読ん でみてください。お買い求めを希望される方は、スタッ フまで直接お問い合わせください。

🔀・・・ スナック & スウィーツの日 🚹 ・・・ カフェで開催するイベント

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どようび	にちようび
				1 金さん ≪コリア≫	2 ス MAFGA スナック	3 世界の朝ごはん ≪ベラルーシ≫ 10:00~13:00
休館日	5 コブさん ≪タイ≫	店休日	7 MAFGA スナック	8 ルーパさん ≪インド≫	9 フランクリンさん ≪キューバ≫	10 世界の朝ごはん ≪トルコ≫ 10:00~13:00
休館日	12 ノックさん ≪タイ≫	店休日	14 □ プさん ≪タイ≫	15 山口さん ≪中国≫	16 トゥエットさん 《ペトナム》	17 ス MAFGA スナック
18 ス MAFGA スナック	19 フランクリンさん ≪キューバ≫	20 店休日	21 セイハンさん 《トルコ》	22 洪さん ≪コリア≫	23 MAFGA スナック	24 ス MAFGA スナック
休館日	26 ルーパさん ≪インド≫	27 店休日	28 ノックさん ≪タイ≫	29 ジェニーさん ※シリア&アルメニア》	30 ス MAFGA スナック	

★コロナウイルス感染拡大防止のため変更になる場合があります。最新情報は、Facebook を確認ください。

- ベジタリアン、ハラル、アレルギ−対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。また急きょ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- D 詳細は、Facebook をご覧ください。https://www.facebook.com/mafgachallengecafe



下記についての問合せ・申込みは(公財)箕面市国際交流協会まで スマートフォン・パソコンからの参加申込みも可能です。 URL もしくは二次元コードからアクセスして、各イベントのページから申込みください!

【申込み先】

https://mafga.or.jp FAX: 072-727-6920 **☎:072-727-6912**



イベント情報

特に記載がないものは、 箕面市立多文化交流センター で開催します。

スポーツ

ランチタイム!阪大でボッチャしよう

毎月第二水曜日 9/13(水) 11:30-13:00

パラリンピックでも話題になった 誰もが楽しめるヨーロッパ生まれ のスポーツ、ボッチャをランチタイムに体験しませんか。 (学生・若者と地域がつながる居場所「ひとこま」企画)

場 所:大阪大学箕面キャンパス 3F ピロティ

参加費:無料(申込み不要) 主 催:箕面市国際交流協会

協力:大阪大学外国語学部、箕面東コミスポ

キューズリビング

食でつながる、このひと、この世界

CZ'S MALL

9/27(水) 10:30-12:00 **2** 13:30-15:00

地域で暮らす外国人市民を講師に迎え、食をテーマに試食や試飲を 交えながら、文化や経験を紹介します。今回のテーマは「ふりかえっ て考える我が故郷」です。

◎孫優紅(中国出身)

場 所:みのおキューズモール CENTER-2F キューズリビング

定 員:各5名 参加費:各550円 申込み:右記の QR コードから



新講座が

続々登場!

3講座への申込みは、左記 QR コードからお願いしま

バヤンさんの 親子でイングリッシュ・プレイ・タイム 未就園児と保護者が親子で簡単なアクティビティを楽しみながら英

語を学びます。※幼稚園などに在籍していない3歳くらいまでの子どもと ◎バヤン・ジン・アル・アブディン その保護者が対象です

場所:船場生涯学習センター 対象:未就園児と保護者

定員:10組(先着順) 費用:11,000円(会員)16,500円(一般)

9:00-9:45 10/14全10回

第二・第四十曜

17:00-18:00

10/11-全10回

第二 · 第四水曜

ファテメさんの 英語でペルシアンダンス

英会話を学びながら、イラン出身のファテメさんに本場のペルシア ンダンスを習います。 ◎ファテメ・モタバリプール

場所:多文化交流センター

対象:どなたでも 定員:10名(先着順) 費用:16,500円(会員)22,000円(一般)

10/21-全19回 毎调十曜 18:00-19:00

リザさんの ゲームでみにつく英会話クラブ

ゲームをしながら英語を学びます。クラブ活動のような、10代向け の新しいスタイルの語学講座です! ◎リザ・ミア・マキラヤ

場所:多文化交流センター

対象:10~15歳 定員:10名(先着順) 費用: 20,900 円(会員) 31,350 円(一般)

秋の多文化ボランティアセミナ



13:30-14:00 国際交流協会の紹介

◎講師:箕面市国際交流協会 職員 14:00-16:00 講演&パネルディスカッション

「多文化な子どもを支える地域をつくろう!大学・学校・地域をつないで」

◎講師:近藤美佳(大阪大学人文学研究科外国学専攻 講師)ほか

定員 : 40 名 (要申込) :講座室 場所

参加費 : 各回 550 円 (一般)

無料(賛助会員)

※一時保育あり(定員3名・要申込) ↓申込みは以下の QR コードから↓



14:00-16:00 講演

「東アジア地域における 21 世紀型コミュニティの構築を目指して ~宍粟市などでの取り組みから~」

◎講師: 思沁夫 (大阪大学グローバルイニシアティブセンター客員教授) 16:00-17:00 ポランティア活動紹介

9/30 (±) 14:00-17:00

#.D&= 唐木幸子バレエスタジオ ~質面の地で 40 年の歴史~

*バレエコース:「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校」のバレエ教授法取得証明書(Dipolma)や、 日本徒手療法師会より「徒手療法師」の資格認定を与えられた姿勢調整師でもあ る指導者が、丁寧に分かりやすく指導致します。「バレエは芸術」として長く続けら れるように、また中高生には学業と両立できるよう配慮しています。3 才~80 才

位の年齢層まで、目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

*健康コース: 徒手療法師の資格を持ったバレエ指導者(姿勢科学士)が 健康維持を目的とした姿勢調整を致します。

〒562-0041 箕面市桜 4-1-24 阪急牧落駅西側右斜め前(駅より 30M) 072-721-6300/721-2576 http://www.karaki-sachiko-ballet.com/





他団体からのお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの各団体へお願いします。

大阪大学

大阪大学市民講座 2023 複言語学習のススメ「せかいのことば」

9/9 (土) 13:00-15:30

耳や口をフルに使っているいるな国のことばで「こんにちは」って言っ てみませんか?楽しみながら外国語に触れる公開講座です。どの言語を学 習するかは当日のお楽しみ! (次回は、10/15(日)です)

場 所:オンライン

参加費:無料

申込み:QRコードより 主 催:大阪大学サイバーメディアセンタ 大阪大学大学院人文学研究科

問合せ:ml-lls@g.les.cmc.osaka-u.ac.jp

ワークショップ

まなびカフェ「みんなの手話講座」

9/**17** (日) 14:00-16:00

多様な講師をお迎えするなどし、生きたまなびを皆さまと一緒につくる 場。今回のテーマは手話。手話を実際に使って話してみませんか?年齢制 限はありません。子どもも大歓迎! ◎吉田花奈(医療従事者)

定 員:15名

場 所:らいとぴあ21 1F展示コーナー

参加費:無料(別途、ワンドリンク制) 申込み・問合せ:072-722-7400

申込み:不要(直接お越しください)

場 所:大阪大学箕面キャンパス 3F ピロティ

刺繍サークル

メキシコ刺繍サークル R&R

○ R&R (ロクサナ・ロペス、浜内怜子)

毎月第三水曜日 9/20(水)

先住民の文化や伝統が表現されているメキシコの刺繍は魅力がいっぱい。 作品に触れながら、自分の手でも作ってみませんか?刺繍の経験がない方 もどうぞご参加ください。

主 催:R&R

協力:箕面市国際交流協会

参加費:1,000円(材料費別途)

10:00-11:30

マンスリー多文化サロン「アラビアン・ナイトの物語」

毎月第三木曜日 9/21 (木) ^{19:00-20:00}

大阪大学

大阪大学の教員が、諸外国・諸地域の文化や生活などを紹介。講座を通 して、講師・市民の相互交流や多文化共生を目指します。今回は、アラビ ア語編です。*オンライン併用のハイブリッド開催です。

◎近藤久美子(大阪大学 人文学研究科 教授)

場 所:大阪大学箕面キャンパス 1F 大講義室

参加費:無料

申込み:9/5~9/15にHP、TELで https://www.sfs.osaka-u.ac.jp/

主 催:大阪大学外国語学部 申込み・問合せ:072-730-5013

上映会

とよキネマ vol.54「スープとイデオロギー」上映会

9/22(金) <u>11:00/</u> 14:30/19:00

『ディア・ピョンヤン』『かぞくのくに』のヤン ヨンヒ監督の最新作の 上映会。1948年、「済州4・3事件」の渦中にいたヨンヒ監督の母の生き ざまをとおして、国家の残酷さ、運命に抗う愛の力を描きだす。 ※3回上映。開場は各上映開始の15分前

場 所:豊中市立文化芸術センター 中ホール(アクア文化ホール) 参加費:一般1,000円、ペア1,800円

※障害者とその介助者は2割引 主 催:豊中市市民ホール等指定管理者

申込み・問合せ:06-6864-5000 (月曜休館)

大阪大学

箕面市立船場図書館イベント「インドの芸術と音楽」

9/30 (土) ① 13:00-14:30 ② 15:00-16:30

古来、インド(南アジア地域)の詩と音楽は一体となって発達してきま した。①第一部 (13:00-14:30) では、インドの美学・芸術論の核心となっ ている「美的な味わい」(ラサ)について解説します。②第二部(15:00-16:30) では、詩・絵画など実際の作品の鑑賞を行います。各回、インドの 伝統弦楽器サロードによる古典曲の実演があります。 ◎北田信(大阪大学 人文学研究科 教授)

場所:箕面市立船場図書館

参加費:無料

定 員:各15名(小学生以上)

申込み・問合せ:072-727-1033 (船場図書館) 主 催:環インド洋地域研究プロジェクト

阪大拠点 HINDOWS

「文学・思想の混交性と創造性」 問合せ:ml-lls@g.les.cmc.osaka-u.ac.jp

大阪大学

第1回大阪大学外国語学部・外国学専攻シンポジウム 「言葉を究めて世界へはばたく」 & オクトーバーフェスト

10/21 (土) 13:00-16:25 (シンポシウム)

ノンポ後 -19:00 (オクト-バ-フェスト)

山極壽一氏、ウスビ・サコ氏による講演、複言語・複文化共存社会研究 センターの紹介や活動事例の発表を踏まえたパネルディスカッションを行 います。シンポジウムの後は大阪大学箕面キャンパス3階ピロティにてオ クトーバーフェストを開催します。コムカフェも出店予定!お楽しみに。

○山極壽一(総合地球環境学研究所長)○ウスビ・サコ(京都精華大学全学研究機構長)

場所:箕面市立文化芸能劇場大ホール(シンボ) 大阪大学箕面キャンパス 3F ピロティ(オクフェス)

参加費:無料(要申込み)※飲食代別途 主催:大阪大学外国語学部・人文学研究科外国学専攻

申込み:QRコードより 回りませい回



coupe de Minami スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか?





ボディに布を直接 のせて服をつくって みましょう! (立体裁断)

南正枝 プロフィール (略歴)

昭和42~45年 フランス・パリの洋裁学校にて立体裁断、 デザイン等を修得

昭和45~47年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー 昭和47年以降 大学および専門学校での講師経験多数

- ◆リフォームや服のお仕立てもいたします!◆パターンや立体裁断も教えます。◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください!
 - ●問合せ:〒562-0012 電話 / FAX 箕面市白島2-2-30 072 (721) 4151 E-mail info@coupe-de-minami.com URL http://www.coupe-de-minami.com

めろん編集ボランティアスタッフ 募集中!

「めるん」は箕面市国際交流協会と協会ボランティアが協働し、地域の多様性を高める情報をみなさんにお届けしています。取材に行ったり、記事を書いたり、誌面をいっしょに作るボランティアを募集しています。イベントやセミナーの企画や勉強会なども行います。多文化共生に関心のある方、ぜひご参加ください!! 編集会議の日程などについては、協会までお問合せください。

めろんへのご意見・ご感想をお寄せください。

いつも「めるん」をお読みいただきありがとうございます。「このテーマをもっと掘り下げてほしい!」「前回の掲載されていた記事面白かったよ」「めるんで取材にきませんか?」などなど、読者のみなさまからのご意見・ご感想を大募集中! info@mafga.or.jpまでお寄せください。

編上集上後上記

夫の友人たちと一緒に日本海の海水浴場へ旅行に行った。皆で海に入り、いい年した大人たちがこんなに無防備で、まるで子どものようにはしゃぎ楽しむ姿が私には不思議に思えたが、同時に決して私の入る余地のない独特な雰囲気も感じた。

彼らは在日韓国人の2世・3世で、1970年代前半に韓国に留学した先輩後輩の関係だ。彼らの親は自分の意志で日本に来た人、騙されて来た人、強制的に連れて来られた人など様々である。親たちは必死だった。色んな差別の中、周りから馬鹿にされながらも、必死に生きた。いつか帰る祖国を夢見ながら家族の為に、特に子どもたちには自分たちと同じ思いをさせない為に必死に働いた。彼らの中にはそのような親の思いを背負って留学した者も多い。しかしそこでも彼らは見えない壁や冷ややかな視線を感じることになり、一体自分たちは何者なのかと真剣に悩んだに違いない。その当時韓国では北朝鮮との非常に厳しい関係の中、民主化を求める学生運動で揺れ動く時代でもあった。大統領の暗殺等、時代の大きな転換期をリアルタイムで経験する事になったのだ。一緒に行った何人もの友人たちがスパイ事件に巻き込まれ、投獄される悲しみをも一緒に乗り越え、彼らは変わりゆく祖国の歴史の1ページを共有した同志であり、親たち同様、また彼らも子や孫の為に強く生き抜いて行かなければならない戦友的な関係でもあった。

彼らは日本で生まれ日本社会で育ったが、親たちの願いも虚しく、なお差別は存在する。そのなかで在日韓国人として生きるためには、同じ時代を共有した者同士の強い連帯感を持ちながら支え合う事が如何に大事かを理解し一生懸命に生きている。私は彼らが誇らしい。彼らと語り合いながら、日本社会での外国人問題の根本は、在日韓国・朝鮮人の問題であることを再確認した旅だった。

少しでも住みやすい社会の為に、代々経験せざるを得なかった不条理や痛みを、勇気を持って語り、弱い立場の人々の言葉を心で受け止めて行きたい。私たちにはそれしか出来ないが、彼らのように、希望を捨てずに今出来ることをともにやっていきたい。(崔)

アクセスマップ



₩₩ ₹オレンジゆずるバス

- (平日・土曜) 黄ルート「多文化交流センター前」 または赤ルート「小野原南」から西へ約 550m
- (日曜・祝日) 緑ルート「小野原西五丁目」から西へ約 200m ※「多文化交流センター前」には停まりません。

出発	バス番号	最寄バス停		
千里中央 北千里方面から	30、55、56	↑ 小野原		
	58、59、66	♀ 小野原西		
	175、176	③ 小野原南		
	70	⊕ 小野原西5丁目		
	70、78	⑤ 関西学院千里国際キャンパス		
阪急石橋から	92	↑ 小野原		
JR茨木方面から	92	② 小野原西		

「めろん」 編集スタッフ

【ボランティア】井嶋眞佐子、荻野克彦、黒田アリサ、崔聖子、中島美瑛、西岡夏希、山下三千世、鷲尾則昭 【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、坂口ピーター、ツェレンダグワ ムンフバヤスガラン、中村由紀、鳥羽山良平

問合せ:(公財) 箕面市国際交流協会 〒 562-0032 箕面市小野原西 5-2-36 多文化交流センター

Tel: 072-727-6912 Fax: 072-727-6920 E-mail: info@mafga.or.jp

HP:www.mafga.or.jp FB:facebook.com/Mafga みのお多言語ポータル:http://portal.mafga.or.jp/